

様式第3号（第10条関係）

会 議 録

会議の名称	令和8年度第2回白岡市参画と協働のまちづくり審議会
開催日	令和8年7月2日（木）
開催時間	午後 2時00分 から 午後 3時40分 まで
開催場所	コミュニティセンター 2階 集会室1・2
会長の氏名	増田政史
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	増田政史、新谷ちか子、門田晴奈、石塚以善、青木 渉、石塚 茂、6人
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	内ヶ島 圭悟 1人
説明員の職・氏名	地域振興課 課長 佐々木雅美 地域振興課 課長補佐 金子 敬相 地域振興課 主査 中澤 聡 地域振興課 主事 篠崎 那月 地域振興課 主事 近藤 海斗
事務局職員の職・氏名	地域振興課 課長 佐々木雅美 地域振興課 課長補佐 金子 敬相 地域振興課 主査 中澤 聡 地域振興課 主事 篠崎 那月 地域振興課 主事 近藤 海斗
その他会議出席者の職・氏名	傍聴者 9人
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 参画と協働の取組について (2) グループワーク (3) アンケート調査について 4 その他

	5 閉会
配布資料	会議次第 資料 1 白岡市における参画と協働の取組について 資料 2 グループワーク課題 資料 3 アンケート調査について 資料 4 自治基本条例 アンケート調査票（令和 4 年度） 資料 5 白岡市参画と協働のまちづくり審議会今後のスケジュール

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会 佐々木課長の進行により会議が開会した。
増田会長	2 挨拶 増田会長から挨拶がなされた。
事務局	3 会議事項 (1) 参画と協働の取組について 事務局から、説明がなされた。
増田会長	(質疑) この審議会について、参画と協働の取組ということで説明がありました。この取組については、第6次総合振興計画の参画と協働に入ると思います。他の審議会や協議会では、関連する個別計画が定められています。参画と協働のまちづくり審議会は特に個別計画が定められていないが、何か意味があるのでしょうか。
事務局	様々な計画の中で、その基礎となる自治基本条例があります。この審議会は、自治基本条例の検証に基づいた審議会という位置づけになっています。 総合振興計画の中では、その計画の実現のために参画と協働の項目がありますが、内容が関連する自治基本条例と総合振興計画は、それぞれの条例・計画に沿って検討していくものでございます。
増田会長	それぞれの内容に沿った形で、再考して進めていくということですね。 ありがとうございました。他に意見はありますか。

門田副会長	この場で初めて資料を見て意見を言うことは難しいので、メールで構わないので事前に会議資料を配布していただけると質問しやすくなるかと思います。
事務局	後日メールで事前に資料送付をする旨の案内文を送付しますので、よろしくお願いいたします。
全出席委員	(2) グループワーク 2 グループに分かれてグループワークを行った。
A 委員	グループワークの発表 A 委員から A グループの発表がなされた。（詳細は別紙のとおり）
門田副会長	門田副会長から B グループの発表がなされた。（詳細は別紙のとおり）
事務局	発表していただいた A 委員と門田副会長につきましては、私も前課の新白岡エリアマネジメントという事業の中で、お二人と関わる事が多くありました。二人とも新白岡エリアマネジメントの事業の経験で、民と官のジレンマを見てきたと思います。行政側といたしましては、調整能力や融通の利かせ方が、法律の範囲内になってしまいます。コーディネートする能力が高い職員が多くなれば、お二人のような方が窓口に来て、自分の所管外のことであっても、「やりたいことがあるけれど、何か利用できないですか」と気軽に聞けて、職員から制度などを紹介して話を広げていくことで、協働の輪が広がり、参画と協働という事業がよりよくなっていくのではないかと思います。また、地域コミュニティの認識という点でも、行政区や P T A などの話が門田副会長からもありましたが、新しいコミュニティのあり方をよく学ぶ必要があるのではないかと感じました。まずは市民から話しかけられやすい職員にならなければならないということが大切なとこ

	ろではないかと思います。様々な職員、市民の方がいらっしゃると思いますが、相手を見下すことなく、対等な目線で話していけるようになっていければ、より良いまちづくりができるのではないかと感じています。 先程のお話の中でもありましたが、市民の方でも、自分もできるかもしれないという気づきが重要だと思います。門田副会長からも指摘がありましたとおり、当事者意識がないと他人任せになり、一方的な要求になってしまいます。市民と職員がお互いに対等な関係を築くなど気持ちの持ち方で、参画と協働も変わっていくのではないかと感じています。全体の市政に関連した事業で関係していくよりも、プロジェクトや、好きなイベントなど、小さな分野の中で行政と市民の関係性をつくり、他のイベントや事業などに活動が広がっていくと、より良い参画と協働になっていくのではないかと考えています。 本日委員の皆様にいただきました貴重なご意見につきましては、事務局でも検討させていただき、可能な範囲で取り入れていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
増田会長	グループワークに参加して、市民の基本的な考え方が出てきたと思います。それに対して、課長さんの方から関係部署を含めて考えていきたいとのお言葉があったと思います。この場は地域振興課が中心になって実施していると思いますが、他にも市民課・環境課・安心安全課など全部関係してくると思います。行政の中でも、こういった意見・考え方を共有していただいて、プラスになるようにしていただければと思います。 グループワークは終わりましたが、委員の皆さんから一言加えたい内容などありましたら発表をお願いします。
D委員	意識改革は大切だと思いますが、なかなかできそうでできないものだと思います。これをどのように進めていくかが重

増田会長	要だと感じました。思うことは誰でもできますが、それを実行することが難しいです。 私たちのグループで出た意見ですが、今日のグループワークのように皆さんから意見を聴きましたが、今回だけで終わるのではなく、別の回でも同じように意見を聴くことを繰り返してやっていくことが必要なのではないかと思います。様々な意見を聴き、行政に反映し、それに対し市民がどのように考えるといったサイクルを回すことで、参画と協働が活発なまちづくりにつながるのではないかと感じています。
事務局	(3) アンケート調査について 事務局から、説明がなされた。 (質疑)
増田会長	アンケート調査についてですが、対象者は住民基本台帳を基準とした16歳以上の市民で無作為に抽出した2,000人となっていますが、コミュニティセンターなどの公共施設へアンケート用紙を設置する予定はありますか。
事務局	設置しない予定です。
増田会長	他に質問がある方はいらっしゃいますか。
門田副会長	今回のアンケートは、前回と比較するために同じように実施する意味合いですか。
事務局	はい。
D委員	2,000人ですと、白岡市の人口と比較して少ないように思いますが。

事務局	統計学的には、白岡市の人口規模ですと４００人からの回答を得られると、９割以上の信頼性が得られるとのことでした。前回のアンケート調査では、２，０００人のうち６９５人から回答がありました。回答率は約３５％です。そのため、今回も同様の規模で問題ないかと思います。
増田会長	アンケート調査の回答の内容が濃いものになるのかわかりませんが、２，０００人にアンケートをして回答者が７００人程度とのことでしたので、もっと回答者を増やした方がよいと思います。例えば５，０００人にアンケートをして回答者を増やすことはできませんか。
事務局	先程の回答と重複してしまいましたが、統計学的には回答者数が増えたとしても、信頼度は変わらないようです。たとえば回答者が１，０００人や、１，５００人になったとしても、その回答の結果は変わらないとのことでした。
門田副会長	前回と同じ内容のアンケートで、一般の市民の方々の意見を抽出するという意味合いでのアンケートが必要だと思いますが、全く同じものを自治会の方々にとっていただくことはどうでしょうか。もしくは別のアンケートを区長さんに回答いただくことはできませんか。
事務局	以前行政区長の方に、参画と協働の関係ではなく、行政区に関するアンケートを取っております。区長会に了承を得る必要がありますが、了承をいただけた場合、参考資料としてお示ししたいと存じます。他のアンケートについても、公開可能な資料がありましたらお示ししたいと思います。
増田会長	行政区の区長さんにも、今回アンケートを実施していることについて知っていただいた方がよいかもしれないですね。
A委員	先程４００人回答で統計学的には信頼性があるとのこと説明

事務局	がありましたが、例えば世代・年代でチェックして、10代・20代・30代の回答が少なかった場合、その世代の意見の信憑性が低くなってしまいますが、その点をどのように調整するかは考えていますか。 先程の回答と重複しますが、5,000人とっても同じ結果になるとのことなので、アンケート対象者を増やすことは難しいと思います。委員の皆様にも、アンケートの周知をお願いいたします。事務局といたしましても、市公式ホームページ・市公式LINE・市公式Xでの周知をしていきたいと存じます。
門田副会長	アンケートで前回と変更になる部分はありますか。
事務局	⑬の協働事業の項目は直近に実施された事業に変更する予定です。しかし、①の項目のような自治基本条例に関する基礎的な質問については変更しない予定です。アンケートにおいて支障がなければ、軽微な修正以外、基本的には根本的に変更することはございません。
C委員	A委員のお話を聞いて、令和4年に実施したアンケートの結果について気になったことがあります。年代別に見ると、70代の回答が1番多く約20%、5位の30代の回答が約11%と、約10%の差があります。また、前回のアンケートは16歳以上の方からとっていると思いますが、結果報告では10代や20代の回答については載っておらず、30代までになっていました。10代・20代ではどのくらい回答があったのかについて知りたいです。
事務局	前回のアンケート結果について、10代・20代の回答数について、修正いたします。
B委員	アンケート調査の対象人数について、ご説明いただい

増田会長	くわかりました。希望としては、市民全員から意見を取れたら一番良いと思いますが、実際には難しいかと思います。 先ほども意見として出ましたが、例えば自治会などを通してアンケートの周知をすることが必要なのではないかと思います。行政区の区長さんは地域に興味を持ち、考えている方が多いです。2, 000人の方にアンケート調査を行うとのことでしたが、対象者を広げて行政区の役員の方などにも回答いただいてもよいのではないかと思います。
事務局	4 その他 事務局から、説明がなされた。 (質疑)
門田副会長	冒頭に配布させていただいた、「新白岡ちよい飲み」のチラシにつきましてご説明させていただきます。今年でこのイベントを始めて3年目になります。今年は7月と8月の最後の週の水曜日に開催予定になっております。仕事帰りの方がふらっと立ち寄れるようなコミュニティスペースとして、新白岡駅東口交番北側広場にテーブルなどを並べ、アルコールと飲食の提供をして、顔も知らない人とも友達になれるような環境をつくっていくものです。私は仕事でこちらに参画しており、市民も街づくり課も参画をしています。参画と協働の一例になるかと思いますので、ぜひ皆さんに現場を見に来ていただければと思います。よろしくお願いいたします。
増田会長	長時間になりましたが、内容のある会議であったと思います。事務局から説明もありましたが、視察について、行く予定となっておりますのでよろしくお願いします。最後に、本日は傍聴人の方が多くいらっしゃっております。このような会議で進めていますので、ぜひ我々委員の考え方なども見ていただければと思います。今後とも時間がありましたら参加

事務局	いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。 ありがとうございました。皆様大変お疲れ様でございました。 以上をもちまして、第2回白岡市参画と協働のまちづくり審議会の会議事項は全て終了いたしました。皆様、大変お疲れ様でございました。
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。 年 月 日	